

技術分類	技術項目	技術細目	卒業 時 到達 レベル	基礎 Ⅰ	基礎 Ⅱ	急性 期	慢性 期	老年	精神	小児	母性	地域 在宅	統合
安全 確保の 技術	チューブ類の事故 防止	固定方法の工夫と維持											
		事故抜去の予防											
		自己抜去の予防											
	患者誤認防止												
	転倒・転落・外傷の 予防	新生児・成人・高齢者											
		小児の抑制											
	療養環境の調整												
安楽 確保の 技術	安楽な体位	ポジショニング											
	罨法	冷罨法 (氷枕、氷嚢、氷頸、アイスノン)											
		温罨法 (湯たんぽ、温湿布、ホットパック)											
	リラクゼーション	※											
	疼痛緩和	※											
死の 看とりの 技術	臨終まぎわの行動	臨終まぎわの患者の身体的変化の 観察・記述	Ⅱ										
		家族や親しい人々が共に過ごす場 の調整	Ⅱ										
	死の診断とその後 の対応	医師の死亡診断への同席	Ⅲ										
		看護記録への記載	Ⅲ										
		霊安室や出棺時の礼法	Ⅱ										
	死後の身体変化の 理解と必要な対処	治療処置・器具・機器の取り外しと その後の処置	Ⅲ										
		エンゼルメイク (全身清拭、洗髪、髭剃り・爪切り 、化粧等、着用する衣服、ケアへの 参加・宗教上の配慮等)	Ⅱ										
		感染防止・身体の汚染防止	Ⅱ										
	看とりへの態度 ・姿勢	その人らしい生であるよう、患者の 尊厳を心から願い・祈りつづけ、 静かにみまもる	Ⅰ										
		患者が語る死の話題に耳を傾け、 傾聴することができる											
自分自身の看護観・死生観が 患者との出会いによって、どのような 影響を受けたか、言語化できる													
病棟で開催されるデスカンファレンス に出席し、生と死について考えを 深めることができる。													

※欄外に注意書きをする